

天沼小だより

文責

校長 大里 忠弘



自己判断力を伸ばしたい

学校が再開し、分散登校段階のころのことです。朝、児童玄関では手洗いや、ソーシャルディスタンスの指導が念入りに行われていました。早めに登校した児童が、校庭で運動しようと、玄関から校庭に向かって出てきました。その場にいた教員がその子たちに声をかけました。

「今日は合図のチャイムが鳴りませんよ。始まりの時刻に遅れないように教室に戻れますか？」と時計を確認するように注意を促しました。

私は、一校時目の授業が行われている時間、心と思いだし、子どもたちに声をかけてくれた教員に、あの子たちは時間を守れたのかしらと聞いてみました。

「一人残らず、遅刻せず、校舎に入っていました」との回答でした。

時計を見て動く。集団生活でのルールを守る。

大切な習慣です。

早めに気づいた子が、周りに声をかけたかもしれません。

声をかけられた子も、素早く応じて、みんなで約束を守ったのでしょう。

こうした日常生活の積み重ねが、信用を高め、任される自由の幅が広がっていきます。細かい決まり事で子どもたちをコントロールするのではなく、自分で考える場面をたくさん作って、自己判断力を育てる学校でありたいと思います。



健康、保健関連の検診も着々と



保健室への入室を待つ児童

分散登校の期間が終了し、6月15日(月)からは、全校一斉の授業が始まり、午前だけの授業でしたが、今週から、給食も再開し、完全再開の段階になりました。

各教室での授業もペースを取り戻し、子どもたちは楽しそうに学習しています。

内科検診、歯科検診、眼科検診などが休校の影響で実施できない状況が続いていましたが、学校医さんとの調整がつき、実施の予定が決まりました。細かい日程については、学級通信や保健だよりでお知らせします。学習のペースを

整えることは大切ですが、健康を保つことも同じように大切です。むし歯や、視力の状況を調べ、必要があれば、しっかりと治療をお願いします。